

エレクトロニクス高品質 スクリーン印刷の基本とプロセス適正化手法

ホームページURL : <https://www.rdsc.co.jp/seminar/241264>

◆日時 : 2024年12月6日(金) 10:30~16:30

【アーカイブ配信:12/9~12/27】

◆受講料 : 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**
- ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**
- ・LIVE、アーカイブ両方視聴される場合は1名につき55,000円、2名で66,000円です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※詳細はホームページでご確認下さい。

(株)エスピーソリューション 代表取締役 佐野 康 氏

<ご略歴>

輸入商社において、14年間、導電性接着剤、ポリミドペーストの営業職を経た後、1990年より製版メーカー(東京プロセスサービス)での技術営業職、1994年より印刷機メーカー(マイクロ・テック)にてスクリーン印刷のプロセス技術支援業務に従事。

2000年10月(株)エスピーソリューションを設立し、技術コンサルティング業務を開始、以来23年間、プラズマディスプレイパネル(PDP)、セラミック電子部品、プリント基板、プリントドエレクトロニクス、グラフィック・加飾印刷等の分野における印刷加工メーカーやペーストメーカーなど約70社以上に対し技術支援を行ってきた。

【講座の趣旨】※詳細はホームページでご確認下さい。

これまで、スクリーン印刷プロセスが管理困難だと思われてきたのは、多くの場合、技術の基本を理解せずに、適正化されていないインキやスクリーン版、スキージを使用していたためです。

高品質なスクリーン印刷実践のために、適正な理論とその基本に基づいた「標準」があります。印刷されるインキ、ペーストの身になってプロセスを考える「ペーストプロセス理論」です。この考え方はエレクトロニクス分野のみならず、グラフィック、加飾、染染、工業印刷などでの高品質スクリーン印刷実践のためであれば、すべてに通用します。

スクリーン印刷に対するこれまでの先入観を捨て、論理的整合性の観点からこの考え方を評価いただければ、この理論の正しさを納得していただけると思います。これまでの対策での成功の理由も失敗の理由もこの理論で説明ができるようになります。この理論を正しく実践すれば、スクリーン印刷は、これからの技術的伸び代が最も大きい有用なプロセス技術であることがご理解いただけると思います。<中略>

本講演では、最初に、スクリーン印刷の原理やメカニズムの解説し、最近、明らかになった「版離れ角度」と「版離れ力」との相関について説明します。そして、スキージやスクリーンメッシュなどの要素技術の「標準」について解説し、印刷性能に影響するインキ・ペーストの揮発性、濡れ性や粘弾性特性について説明し、さらにこれまで、スクリーン印刷の大きな課題であったベタ印刷での「サドル」の解消や「トーンジャンプ」のないグラデーション印刷、そして、最新のエレクトロニクス分野での具体的な応用例と実践方法について紹介します。

【プログラム】※詳細はホームページでご確認下さい。

はじめに

1. スクリーン印刷とは？

- 1-1. 各種印刷工法の種類とインキの粘度範囲
- 1-2. スクリーン印刷は「特殊印刷」、だから印刷安定性が高い
- 1-3. 現状のスクリーン印刷の多くは「技術限界」の50%以下のレベル？

2. スクリーン印刷8つの適用工法

3. 「ペーストプロセス理論」の考え方の基本

4. 「コンタクト印刷」とは通常スクリーン印刷とは全く異なる印刷工法

5. スクリーン印刷の4つのカニズムの理解

- 5-1. 「ローリング」のメカニズム
- 5-2. 「充てん・掻き取り」のメカニズム
- 5-3. 「版離れ」のメカニズム
- 5-4. 「レベリング」のメカニズム

6. <新技術>「版離れ角度」維持による等クリアランス版離れ改善機構

7. スクリーン印刷装置とスキージの重要性

8. 4つの印刷条件の適正化と「標準」

9. スクリーンメッシュとスクリーン版

10. インキ・ペーストの印刷性能

11. <新技術>「トーンジャンプ」のないグラデーション印刷

12. <新技術>ベタ印刷での「サドル」の解消方法

13. 高品質スクリーン印刷プロセス実践のための具体的な対策手法

- 13-1. 印刷均一性を阻害する要因とその対策
- 13-2. 印刷寸法精度を損なう要因とその対策
- 13-3. スクリーン印刷におけるその他の不具合対策

14. 高品質スクリーン印刷の応用例

【WEBセミナーとは？】

・本講座は「Zoom」を使ったWEBセミナーです。視聴方法は「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。

Zoom 接続テストの手順(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。

・お申込み後は、弊社よりお申し込み内容確認メールをお送りします。

・LIVE配信を受講される方には、事前に資料をPDFでお送りします。Zoom視聴URLはメールでお送りします。開始時間の10分前にご参加下さい。

・アーカイブ配信を受講される方は、配信開始日までにセミナー資料と動画視聴URLをメールでお送りします。期間内は何度でも視聴可能です。

『スクリーン印刷【WEBセミナー】』セミナー申込書 <■LIVE配信 ■アーカイブ配信>

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上(LIVEかアーカイブもご選択下さい)FAXして下さい。HPからもお申し込みできます。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できない場合、ご都合により出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>